

**講座
302**

「高解像度赤色立体地図」を読み解く～川崎・多摩地区の地形から判ること～

【川崎市市制100周年記念講座】

【定員】会場：40名、 【受講料】 2年会員6,690円 1年会員 7,530円 聴講生 10,040円

連携（アジア航測） 【時間】 毎回15時00分～16時30分（計6回）

概要

なぜか立体的にみえて地形がよく解る「赤色立体地図」。さらに精度が高い航空レーザ標高データを用いると、ここまで見える！赤色立体地図の発明者である千葉達朗と、地図、歴史、環境など様々な専門家による講義。微地形から地域の変遷・いきもの・歴史との関係を読み解きます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/ 9(水)	新百合21ビル B2 第2会議室	25センチ赤色立体地図で何が見えるのか～精密航空レーザ計測の可能性を探る～	アジア航測（株）先端技術研究所 千葉研究室 室長 千葉 達朗
2	10/16(水)		多摩丘陵の地形と植物～川崎にある里山を見る～	アジア航測（株）森林ソリューション技術部 部長 太田 望洋
3	10/23(水)		トンボの生態と地形の凹凸～多摩丘陵の地形からトンボが見える～	日本トンボ学会 総務幹事長・トンボ研究会 編集委員長 松沢 孝晋
4	10/30(水)		地形と地名～地名はその土地が背負ってきた歴史や地形を表す！～	(一財)日本地図センター客員研究員 地図研究家 今尾 恵介
5	11/ 6(水)		多摩丘陵の古街道群～町田の鎌倉街道と戦国期の御殿峠古道の実相～	古街道研究家 歴史古街道団代表 歴史シアタージャパン代表 宮田太郎
6	11/20(水)		川崎の地形と2万年の歴史～赤色立体地図で見る遺跡の立地と分布～	公立小松大学次世代考古学研究中心 野口 淳